

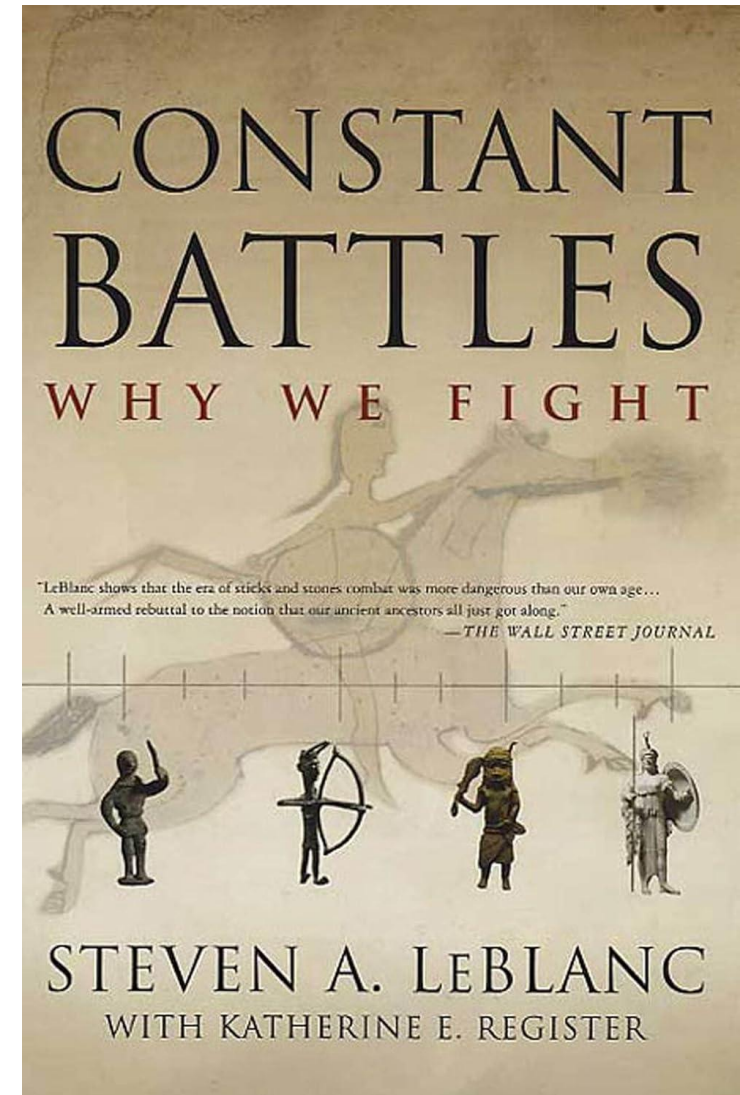
戦争と技術進歩に関する コメント

キャノングローバル戦略研究所 杉山大志

2026年8月6日

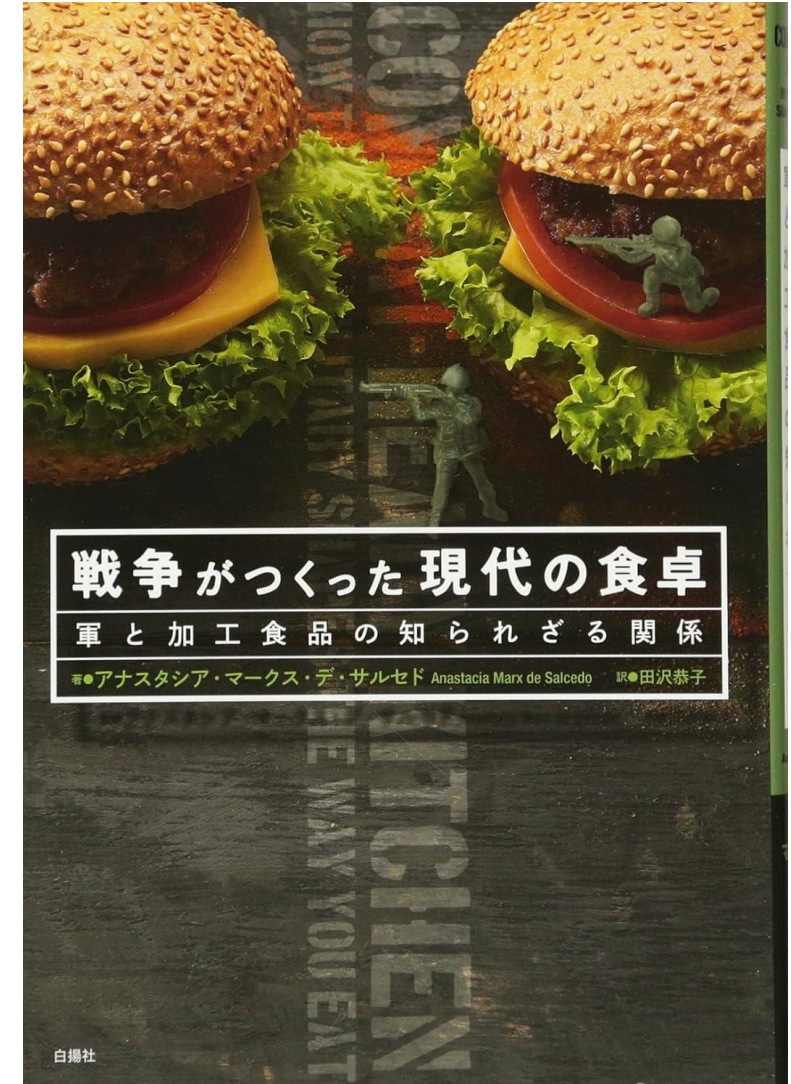
戦争は人類発祥の時からあった

- 「原始時代は平和だった」
は幻想
- 昔ほど戦死率が高い
- 人類史では資源を巡る争いが絶えなかった



戦争は技術進歩の原動力だった

- 現代の加工食品の多くは、軍隊の兵站上の必要から発達した（瓶詰め、チョコレート）
- 軍隊では、遠方の多数の兵士へ、安全かつ安価な食品供給が求められる：
 - 長期間腐らない
 - 高温・低温や湿気に耐える
 - 軽くて輸送しやすい
 - 調理が簡単である
 - 大量生産できる
 - 栄養とカロリーを確実に摂取できる
- この技術が食品産業へ移転された

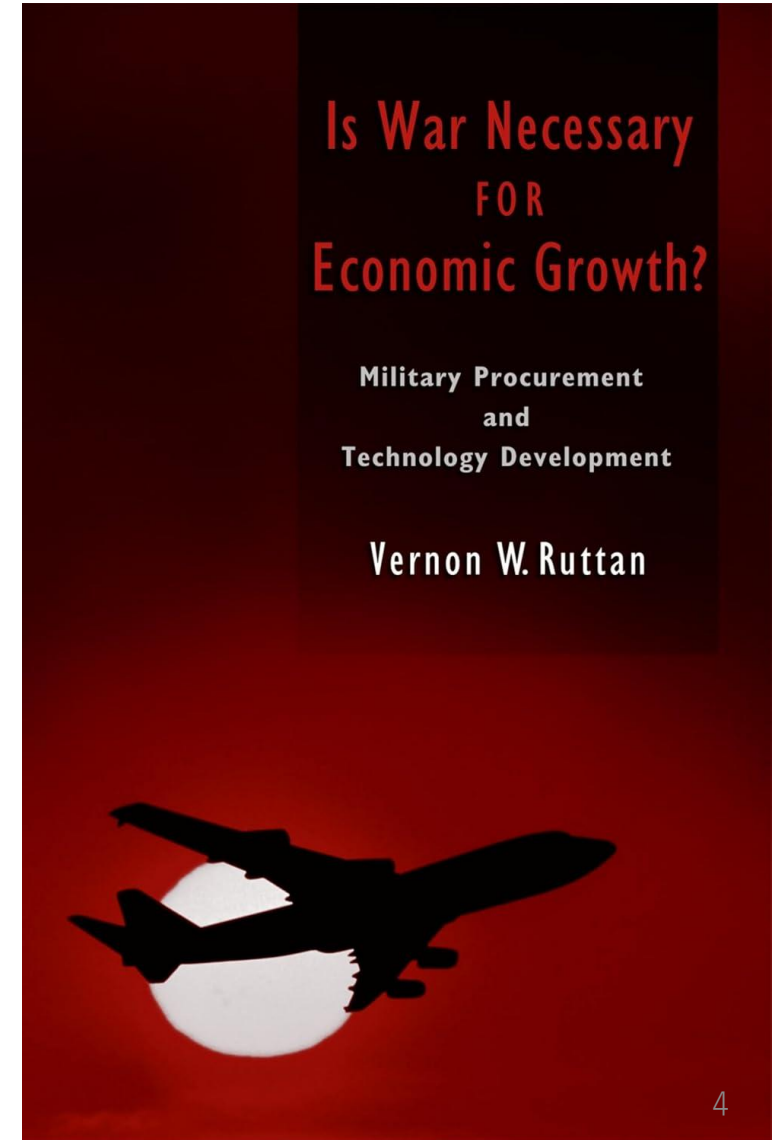


戦争が汎用技術をもたらした

戦争で重要な汎用目的技術が発達。経済成長の原動力となった：

- 互換性部品と大量生産
- 軍用・民間航空機
- 原子力と電力
- コンピューターと半導体
- インターネット
- 通信衛星、観測衛星などの宇宙産業

戦争以外の理由で、継続的で大規模な資源を高リスクな技術開発に動員できるだろうか？



A I の民生利用と軍事利用のゆくえ

- 現在は民生が先行、軍事に転用？（スピンオン）
- これからは最先端AIは秘匿される？（先例：GPS）
- それとも、なおも民生用が先行？
- スピンオフも活発になる？
- ロボット掃除機
- 自動運転・バーティカルAI・フィジカルAI・人型ロボット
- AI幕僚からAI工場長・AI物流センター長・AI経営者へ？
- 自己改良型AI、中国AI Kimi？